

使徒言行録 13 章 26 節～35 節。「兄弟たち、アブラハムの子孫の方々、ならびにあなたがたの中にいて神を畏れる人たち、この救いの言葉はわたしたちに送られました。エルサレムに住む人々やその指導者たちは、イエスを認めず、また、安息日ごとに読まれる預言者の言葉を理解せず、イエスを罪に定めることによって、その言葉を実現させたのです。そして、死に当たる理由は何も見いだせなかったのに、イエスを死刑にするようにとピラトに求めました。こうして、イエスについて書かれていることがすべて実現した後、人々はイエスを木から降ろし、墓に葬りました。しかし、神はイエスを死者の中から復活させてくださったのです。このイエスは、御自分と一緒にガリラヤからエルサレムに上った人々に、幾日にもわたって姿を現されました。その人たちは、今、民に対してイエスの証人となっています。わたしたちも、先祖に与えられた約束について、あなたがたに福音を告げ知らせています。つまり、神はイエスを復活させて、わたしたち子孫のためにその約束を果たしてくださったのです。それは詩編の第二編にも、／『あなたはわたしの子、／わたしは今日あなたを産んだ』／と書いてあるとおりです。また、イエスを死者の中から復活させ、もはや朽ち果てることがないようになさったことについては、／『わたしは、ダビデに約束した／聖なる、確かな祝福をあなたたちに与える』／と言っておられます。ですから、ほかの個所にも、／『あなたは、あなたの聖なる者を／朽ち果てるままにしてはおかれない』／とされています。」

パウロの説教は「この救いの言葉はわたしたちに送られました」と、主イエスの十字架と復活に集中していく。救いの言葉である「主イエス」は人間の世界に遣わされた。ところが、エルサレムの住人や指導者たちは主イエスを認めず、預言者の言葉も理解しなかった。主イエスに死に当たる理由は何も見いだせなかったのに、死刑にするようにとピラトに求め、十字架で殺した。この不条理は、実は、旧約聖書の預言の実現であった。

主イエスは十字架で殺された後、十字架から降ろされ、墓に葬られた。しかし、神は主イエスを死者の中から復活させてくださった。復活したイエスは、御自分と一緒にガリラヤからエルサレムに上った人々に、幾日にもわたって姿を現された。その人たちは、今、民に対して主イエスの復活の証人となっている。私たちも、先祖に与えられた約束が実現した福音について、あなた方に告げ知らせている。つまり、神は主イエスを復活させて、私たち子孫のためにその約束を果たし、救いを与えてくださったのである。

このことの確かさは旧約聖書に預言されている。詩編 2 編 7 節 c に「あなたはわたしの子、／わたしは今日あなたを産んだ」と書いてある通り、神は神の独り子・主イエスを地上に遣わされた。また、主イエスを死者の中から復活させ、もはや朽ち果てることがないようになさった。これは、イザヤ書 55 章 3 節 d に「わたしは、ダビデに約束した／聖なる、確かな祝福をあなたたちに与える」と書いてある通り、約束された祝福の成就である。だから、詩編 16 編 10 節で「あなたは、あなたの聖なる者を／朽ち果てるままにしてはおかれない」と預言されている。主イエスは死んで朽ち果てることなく、復活された。この十字架と復活によって、神がダビデに約束した祝福があなた方に与えられ、救いの預言が実現している。旧約聖書の解釈は強引すぎるが、当時彼らは、このような読み方をしていたのである。ここまでのパウロの説教は初代教会の宣教（ケリュグマ）を踏襲している。